

4月以降に登録された団体/個人のご紹介

■ 団体

- ・スリーパンピングZu
- ・日本ホリスティック医学協会 関西支部
- ・美笑生 (みしょうせい)
- ・伊丹勤労者山岳会
- ・特定非営利活動法人 YOU医療保健福祉研究所
- ・特定非営利活動法人 兵庫大阪ヒューマンホープ
- ・小鳥と鈴
- ・地域文化クリエイターズネット (クリイチ)

■ 個人

- ・くらしのパートナー (川口 未次)
- ・シニアハッピーライフ応援団 (松岡 邦夫)
- ・らん美容室 (佐藤 悦子)
- ・細見 賢治
- ・尾崎 加奈子
- ・田中 大貴

他 匿名1名
(敬称略)

広報お手伝いします

【モニターでの情報発信】

カウンターに設置している「まちプラモニター」で、登録団体の情報を紹介しています。活動内容・イベント告知・ボランティア募集など発信したい内容と、写真やチラシなどの素材をご提供ください。

【チラシラックのご利用】

市民まちづくりプラザ専用のチラシラックがあります。登録団体は無料でご利用いただけます。さまざまな世代の方が訪れる場所ですので、ぜひご利用ください。

【SNSでの情報発信】

市民まちづくりプラザのInstagram・Facebookページ・Xでも、登録団体の活動を発信しています。より多くの方に知ってもらえるチャンスです。

【お気軽にご相談ください】

チラシの書き方やSNSでの発信の仕方など、広報に関するご相談はいつでもどうぞ。あなたの活動をもっと皆様に知ってもらい、活性化できるようにお手伝いします。

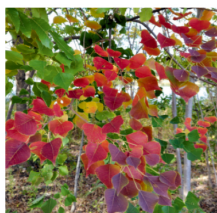


SNSで情報発信中！
フォローしてね！



Instagram ホームページ X Facebook

編集後記



伊丹昆陽池の紅葉

短い秋が過ぎ、気づけばすっかり冬の気配が深まってまいりました。

「まちプラびより」も、おかげさまで第3号を迎えました。4月より指定管理者として市民まちづくりプラザの運営に携わり、多くの皆さまに支えていただいたからこそ、こうして3号目をお届けでき、大変うれしく思っています。

より興味をもって読んでいただけるよう、スタッフ一同、インタビューや取材を重ねて記事づくりに取り組んでまいりました。「市民まちづくりプラザって、こういう場所なんだ」と感じていただき、今後も気軽にご利用いただければ幸いです。



伊丹市立市民まちづくりプラザ

TEL : 072-780-1234 / MAIL : icm.puraza@gmail.com

〒664-0015 伊丹市昆陽池2-1 スワンホール 1階

開館時間 午前9時～午後6時

休館日 月曜日 (祝日の場合はその翌日)・年末年始

発行人 中山 光子 編集人 平岩 伊佐子



2025
12

まちプラびより

VOL.03

みんなが進むまちプラ号



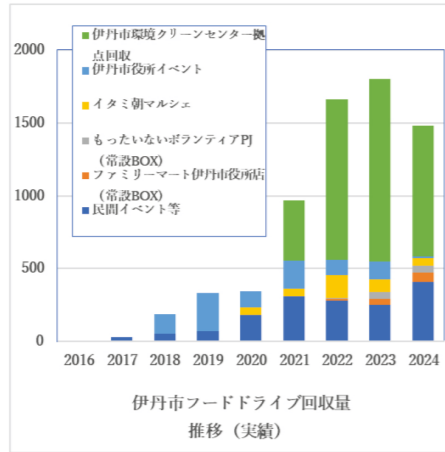
「一般社団法人 食deつながろ」の皆さん

登録団体インタビュー

「食」をきっかけに、人と地域がつながる ——小田 希さんと「食DEつながろ」の歩み



兵庫県伊丹市を拠点に活動する「食deつながろ」は、2016年4月に誕生しました。きっかけは、2015年に開催されたフードロスに関する市民講座。深刻な現状に心を動かされた参加者たちの、「何かできることを」との思いから団体設立へとつながりました。そして、2025年6月には任意団体から一般社団法人となり、ますます活動の輪を広げています。活動10年目を迎え、事業者の皆様からの問い合わせや寄付される食料も増え、2024年は1.4トン、2025年は既に1.5トンを超えています。



この団体の活動内容は「フードドライブ」。市民の皆様が家庭で使いきれなかった食品(食品ロス)をお預かりし、検品、仕分けしてそれを必要としている方々や団体へ届ける取り組みです。「もったいない」を「ありがとう」へ、しんどさを抱えるご家庭への食料支援や、市内の子ども食堂等への食材提供、食育などにつながる活動になっています。

現在は、伊丹市の三軒寺前広場で月に一度開催される「イタミ朝マルシェ」にて食品受付フードドライブのブースを出店。すごろくやクイズなどで、食品ロスについて楽しく学ぶミニワークショップも行っています。

代表理事の小田さんは「環境に優しい循環型の食支援の輪を広げ、まずは食べて笑顔に、そして人と地域が食を通して笑顔に、そして人と地域が食を通してつながる機会や場所を応援したい」と、語ってくれました。今後は家で余った食材で、参加者が一諸に料理を作って交流するイベントの開催も考えています。

インタビューの間、終始笑顔で対応してくださった小田さん。これからの活動もますます楽しみになってきました。

NPO法人コラム 「情報公開の大切さ」

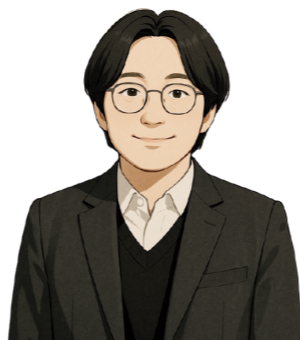
NPO法人には、毎年1回、事業報告書(決算書類含む)を所轄庁に提出する義務があります。提出された過去5年分の事業報告書、それに定款と役員名簿が、内閣府NPO法人ポータルサイトで公開されます。マンパワーの不足などもあって、事業報告書の作成を負担に感じておられる法人が多いようです。

ですが、外部から見ると、事業報告と決算は、法人を判断するうえで大変貴重な情報です。ホームページやパンフレットをいくらキレイに作っても、決算状況が分からないと不安ですね。

その点、もちろん内容にもよりますが、詳細な事業報告と決算書を毎年キチンと作って公開していれば、そのこと自体が、法人の信用につながります。

負担ではなく、長所をアピールする機会だと、前向きに捉えていきましょう！

市民まちづくりプラザ
宮下 隆二



これからはじめる大人の地域参加準備講座

人生の棚卸 ~わたしのタカラを再確認~ — 4回講座を開催

10月の毎週土曜日、これから地域活動に参加したい方を対象に、全4回の講座「これからはじめる大人の地域参加準備講座」を開催しました。

第1回は、講師を招いての「人生の棚卸」。これまでの経験を振り返り、自分の得意なことや大切にしてきた思いを再確認しました。参加者からは「自分軸で考える良い機会だった」「自分の強みを再発見できた」といった声が寄せられ、自分を知ることが今後の地域参加への一歩につながりました。

第2回は、市内で活躍する団体による事例紹介。「少人数から始まり団体に成長した過程を聞いて勇気もらった」「生き生きと活動する姿に刺激を受けた」などの感想があり、事例紹介した団体と参加者の座談会でも意見交換が活発に行われました。

第3回は個別相談会。個別とはいえ、参加者全員で悩みやアイデアを共有する場となり、「他の人の意見が聞いて自分の考えを整理できた」との感想が聞けました。

最終日には、これまでの学びを踏まえ、一人ひとりが自分の地域活動計画を発表。参加者同士が自然と連絡先を交換し「何か一緒にしよう」と声を掛け合うなど、今後の活動への意欲が感じられる時間となりました。

4日間すべてに参加した方は少数でしたが、最終的にはどの参加者も自分らしい地域活動を具体的に思い描けるようになり、音楽の活動をしたいと言っていた参加者同士のつながりが生まれたり今後の活動についてまちプラとの連携を希望する声があがったりと、まちプラとしても大きな成果を実感できる講座となりました。



PICKUP! ピンポイント講座 地域食堂のはじめかた

はじめの一歩を踏み出すための事例紹介講座 第1弾



地域活動をしてみたいけど何をすればいいか見つけるのは難しい、という方に向けて企画した事例紹介講座です。前半は事例紹介として、青空食堂「エンゼル」と「あかね食堂」が地域食堂をはじめた経緯や、活動のやりがい、メニューやこども向けイベントなどの具体例をお伝えいただきました。後半は、座談会で「スタッフ確保をどうするか」という現実的な問題や「子ども食堂のメニューに自分で収穫した野菜をとり入れたい」と、今後の展望など、盛り上がる内容となりました。参加者からは「今後の自分たちの活動のためになる」など声があり、地域活動へ発展する期待が高まりました。

PICKUP! 団体活動訪問 伊丹トースト マスターズクラブ



1924年に米国で生まれた、長い歴史を持つ非営利団体で、世界145カ国で36万人以上の会員が互いに学び合い、トーストマスターズクラブの教育プログラムを実践し、スピーチとリーダーシップに関するスキル向上をはかっています。英語オンリーの中、即興スピーチのセッションでは、今日のテーマ(感謝)を織り交ぜ質問に即興で答えていました。タイマー担当が示す色カードを目安に、制限時間内にスピーチを終えるよう、奮闘されていました。英語力を磨きたい方、人前で話す力をつけたい方、リーダーシップに興味のある方は、右上の「二次元バーコード」からアクセス下さい。